

女性が輝く!
おおいたアクションプラン
2025
Oita Action Plan



女性が輝くおおいたアクションプランについて

少子高齢化・人口減少社会の到来

背景

- ◆ 2056年：人口が1億人を割る見込み
2070年：生産年齢人口（15歳以上65歳未満）はピーク時（1995年）の約半分になる見込み
(約8,730万人→約4,535万人)
- ◆ 地方創生の加速前進に向けては、女性の活躍は重要かつ喫緊の課題であり、女性が社会の様々な場面で活躍することが求められています。
- ◆ 女性の就業率は全体的に上昇していますが、第1子出産を機に女性の約3割が退職するほか、「男は仕事、女は家庭」という固定的な性別役割分担意識が根強く存在し、夫の育児・家事の負担が格段に少なく、妻に負担が偏っている現状があります。
- ◆ 女性が働きやすく存分に活躍できる社会の実現に向けて、家庭・職場・地域での意識を変革するとともに、業種業界ごとに抱える様々な課題を解決するための具体的な対策が急務です。

アクション
プランの目的

- ◆ 女性の人権尊重やDV根絶など男女共同参画社会の実現に向け、全般的な体系を示している「男女共同参画プラン（現行R3～R7年度）」とは別に、女性が働きやすく活躍できる県づくりを進めるための指針として、県や経済界の具体的な取組をとりまとめ、わかりやすく紹介します。

女性が輝くおおいたアクションプランの県事業の施策体系

女性活躍に向けて、3つの柱を基本に取り組みます。



女性が輝くおおいたアクションプランの推進体制

官民が連携して施策の推進体制を構築します。

- ◆ 業界ごとの課題を分析し、その解決に向け、経済界と連携し実効性のある施策展開を目指します。
- ◆ 官民からなる「女性が輝くおおいた推進会議」で施策の効果を検証し、プラスアップするPDCAサイクルで推進します。

（推進イメージ）



